
Tomorrow is another day～平成21年12月

京都産業大学のラグビー部を応援し続けること数十年、正面からのゴールキックを外せば、スーパーブーツと呼ばれた大曾根伝説を語り、スクラムハーフのパスが悪ければ、同級生が多い事が自慢の吉田克也の登場を望み、スクラムを故意に落とす相手がいれば、斉藤レフリーだったら「スクラムトライの宣告」、神風が吹けば早稲田に勝つ・・・なんて毎年言い続けています。

日本大学のドロップゴールでとどめをさされた広瀬の時代。国立の大舞台で、大畑というフィニッシャーが後方に控えるにも関わらずスクラムにこだわって敗れた関東学院大学戦。京都成章出身の矢富と伏見工業出身の田中史朗という当時の大学生最高レベルの因縁のスクラムハーフ対決に敗れた早稲田大学戦。



毎年、負けてもチームに愛着があるのですが、今年のチームには愛着が湧きません。今年の話は、なんと言っても嵐の平和台で神風を吹かせて(?)早稲田大学に勝利した伝説のキャプテン、日本代表として桜のジャージーに袖を通した吉田明の監督就任です。創部以来、選手を鍛え上げて、「フォワードの京産」という代名詞を全国に知らしめた大西健監督に代わって、鳴り物入りで就任し、期待が大きかっただけに、今年の結果が残念でなりません。

関西大学Aリーグ、初戦で立命館大学に敗れてから5連敗。終盤、大阪体育大学、大阪産業大学になんとか勝利して6位という結果に終わりました。去年の最下位、入替戦での龍谷大学に辛勝という結果よりも進歩しているかも知れませんが、やっぱ勝たなきゃダメ、全国大学選手権に出場しなきゃダメですよ。スタンドの観客も例年に比べて少なくなる一方ですぞ。正直、私も土曜開催という理由もあって、今シーズンは4試合しかスタンドで観戦していませんが、これでは応援にも力が入りません。



昔の言葉に「巨人、大鵬、卵焼き」なんてのがありましたが、強くて勝ち続けてこそ人気が出るのじゃないですか。平和台で神風を吹かせて勝利を手中にしたカリスマ・キャプテンにお願いします。今度は、国立で、最高のチームを率いて、神風を吹かせて、カリスマ監督となって下さい。

まずは、「スクラム」これだけは負けて欲しくない。そして・・・頼んだぞ、アキラ！

平成21年12月6日記

[Top](#)
トップ
へ

[Back](#)
戻る



[やめよっかな～平成22年11月](#)